

大学史教育を通じた進学適性の自覚促進に関する研究（2）

—中等教育と高等教育の接続関係改善に向けた大学情報提供の在り方について—

小宮山道夫 西原 利典

1. はじめに

本研究は広島大学附属高等学校（以下、附属高）生徒の進学適性に対する自覚の形成に、大学情報の提供、とくに大学史教育がどのように寄与できるかを考察しようとするものである。平成21年度より第2期プロジェクトに入り、第1期の研究方法に次の3つの変化を加えている。一つは附属高主催の進路学習の一環として行われる大学訪問の一プログラムとして講義を組み込んだこと。もう一つはそのことにより附属高の自校史の講義を省き大学史の講義のみとしたこと。そしてもう一つは大学史の講義を受けさせた集団（広島大学東広島キャンパスを訪問した集団）と受けさせなかった集団（広島大学霞キャンパスを訪問した集団）とを設けて、2集団間の違いを考察する方法に変更したことである。

本研究の動機および研究方法については『広島大学学部・附属学校共同研究機構研究紀要』（第35～38号、2007年～2010年）を参照願いたい。

2. 研究の対象および事前調査の内容

平成22年度の附属高第1学年の生徒207名を対象に、生徒にとって比較的身近な広島大学を例にして日本の大学教育制度に対する理解を深めさせる講義「日本の大学の歴史」を提供した。これらの授業の前後にアンケート調査を実施し、生徒たちの意識の変化をみた。

対象生徒数および回答者数については表1にみるとおりである。表中の括弧内の数字は女子で内数を表す（以下同様）。生徒207名のうち、事前調査に回答を得られたのは204名分であった。事後調査については、大学訪問で東広島キャンパスを訪問し、「日本の大学の歴史」の講義を受けた生徒118名分（東広島）、霞キャンパスを訪問し、講義を受けなかった生徒83名分（霞地区）の合計201名分の回答を得た。

事前調査ではこれまでの調査と同様に、調査対象の過去の進学動向を調べるため、附属中学校や附属高へ

の進学理由を質問した。附属中学出身者数は表2にみるとおりである。

表1 附属高校第1学年生徒数及び回答者数

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
生徒数	41 (21)	42 (21)	42 (21)	41 (21)	41 (20)	207 (104)
事前調査 回答者数	39 (21)	43 (22)	41 (20)	41 (20)	40 (19)	204 (102)
事後調査 回答者数	38 (19)	42 (21)	41 (20)	40 (19)	40 (20)	201 (99)
(内訳)	25	28	21	24	20	118
東広島	(11)	(10)	(10)	(8)	(10)	(49)
霞地区	13 (8)	14 (11)	20 (10)	16 (11)	20 (10)	83 (50)

表2 附属中学出身者数

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A Yes	24 (13)	25 (13)	23 (11)	23 (11)	24 (12)	119 (60)
B No	15 (8)	18 (9)	18 (9)	18 (9)	16 (7)	85 (42)

附属中学校出身者119名に対し、その進学理由を最大3つまで回答させた結果が表3で、同様に附属高の生徒全員に進学理由を回答させた結果が表4である。

このような母集団に対し、大学進学についてどの程度具体的に考えているか、また大学や広島大学についてどの程度関心をもっているかを調べたのが、講義に先だって行った事前調査である。以後、紙幅の都合で調査結果の表のみを掲載する。

3. 事後調査の結果

事後調査では、講義「日本の大学の歴史」を受けた集団に対しては、講義についての受講前の期待との適

表3 附中への進学理由（複数回答）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 中高一貫	17 (7)	14 (5)	17 (9)	20 (10)	16 (9)	84 (40)
B 男女共学	11 (7)	10 (5)	7 (2)	7 (3)	11 (5)	46 (22)
C 兄弟	2 (1)	5 (2)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	11 (5)
D 親の勧め	6 (4)	3 (2)	8 (4)	8 (3)	4 (2)	29 (15)
E 歴史・伝統	1 (1)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	2 (0)	6 (2)
F 大学進学率	1 (0)	2 (1)	1 (1)	2 (1)	0 (0)	6 (3)
G 校風	7 (6)	7 (4)	5 (2)	6 (4)	8 (6)	33 (22)
H 先生の勧め	1 (0)	2 (1)	4 (3)	3 (0)	1 (1)	11 (5)
I 親が卒業生	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	3 (1)
J 他にない	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	6 (2)
K 通学の便	5 (3)	8 (6)	4 (3)	3 (1)	4 (3)	24 (16)
L 同窓会	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)
M 授業の質	3 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (2)	7 (4)
N 世間の評判	4 (1)	2 (0)	1 (1)	2 (1)	3 (0)	12 (3)
O その他	1 (0)	9 (6)	2 (2)	6 (4)	5 (1)	23 (13)

表4 附高への進学理由（複数回答）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 中高一貫	23 (13)	16 (7)	19 (9)	22 (11)	22 (12)	102 (52)
B 男女共学	4 (1)	12 (8)	10 (2)	7 (3)	10 (5)	43 (19)
C 兄弟	2 (1)	1 (0)	5 (3)	2 (1)	2 (0)	12 (5)
D 親の勧め	5 (2)	8 (4)	3 (3)	6 (4)	4 (3)	26 (16)
E 歴史・伝統	3 (3)	3 (1)	3 (0)	4 (1)	2 (0)	15 (5)
F 大学進学率	6 (3)	4 (3)	4 (3)	5 (2)	4 (2)	23 (13)
G 校風	7 (4)	8 (5)	16 (9)	10 (6)	16 (9)	57 (33)
H 先生の勧め	5 (2)	2 (1)	3 (2)	4 (2)	3 (2)	17 (9)
I 親が卒業生	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)
J 他にない	6 (2)	9 (4)	2 (1)	8 (1)	8 (4)	33 (12)
K 通学の便	5 (3)	10 (6)	4 (2)	4 (1)	4 (2)	27 (14)
L 同窓会	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)
M 授業の質	2 (1)	1 (0)	0 (0)	5 (0)	1 (0)	9 (1)
N 世間の評判	6 (1)	3 (2)	5 (3)	5 (2)	2 (0)	21 (8)
O その他	2 (1)	7 (4)	3 (2)	4 (1)	3 (0)	19 (8)

(表5, 6は次頁右側下段)

表7 志望校（または大学所在地）選択の動機

男子（54回答）

- I. 目標確定型（9回答・16.7%）
- II. 情報把握型（2回答・3.7%）
- III. 支持共感型（22回答・40.7%）
- IV. 近隣志向型（2回答・3.7%）
- V. 環境変革型（8回答・14.8%）
- VI. その他（11回答・20.4%）何となく／とくにない／友達と一緒に／親に言われた／意味はない／など

女子（60回答）

- I. 目標確定型（11回答・18.3%）
- II. 情報把握型（3回答・5.0%）
- III. 支持共感型（11回答・18.3%）
- IV. 近隣志向型（23回答・38.3%）
- V. 環境変革型（7回答・11.7%）
- VI. その他（5回答・8.3%）なんとなく／親に私立はダメ、あと広島県に近い県にしろだと念を押されているので、その中で魅力的な広大と神戸大を選んだ／など

表8 進路決定に影響力のあるもの（第1位）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 父親	3 (0)	4 (3)	3 (2)	6 (3)	6 (3)	22 (11)
B 母親	3 (3)	8 (6)	8 (4)	9 (8)	5 (4)	33 (25)
C 兄弟	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	3 (0)
D 祖父母	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
E 親類	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (1)
F 教師	3 (0)	1 (0)	2 (2)	2 (1)	4 (1)	12 (4)
G 友人	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
H その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

表9 進路決定に影響力のないもの（複数回答）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 父親	3 (2)	3 (2)	5 (2)	6 (4)	1 (0)	18 (10)
B 母親	1 (0)	1 (0)	3 (0)	3 (1)	0 (0)	8 (1)
C 兄弟	5 (3)	4 (3)	9 (3)	10 (7)	6 (1)	34 (17)
D 祖父母	7 (3)	7 (5)	10 (4)	11 (8)	9 (6)	44 (26)
E 親類	5 (3)	5 (5)	11 (4)	9 (6)	8 (5)	38 (23)
F 教師	2 (1)	1 (1)	7 (2)	3 (2)	1 (1)	14 (7)
G 友人	5 (2)	5 (4)	6 (2)	6 (5)	6 (5)	28 (18)
H その他	0 (0)	1 (0)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	5 (2)

表10 大学に期待すること

就職に役立つこと（47件・25.1%）／質の高い教師や教育内容（26件・13.9%）／自分の能力を高められること（35件・18.7%）／楽しいキャンパスライフ（17件・9.1%）／充実した教育研究環境（20件・10.7%）／自由（14件・7.5%）／人との出会い（4件・2.1%）／その他（12件・6.4%・きちんとした情報を提供してくれること／思い出作り／など）／わからない（12件・6.4%）

表11 大学のイメージ

自由（78件・41.9%）／楽しそう（26件・14.0%）／高度な教育研究（22件・11.8%）／自律的な学習・生活（24件・12.9%）／充実した教育研究環境（11件・5.9%）／その他（21件・11.3%・素晴らしいところ・授業料その他が高くて、そうそう行ける所ではない・など）／わからない（4件・2.2%）

（表12は次頁右側中段）

表13 興味がある理由

どんな内容か気になるから／広大へ進学することを考えているから／広島大学へ進学することの意味とは何か、知りたいから／自分に必要な知識だと思う／なんとなく大事な話のようだから／どうして自分が大学に行くのか、と思うと明確な答えが出ないから／など、65回答

表5 進学大学の具体化

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 考えている	21 (11)	22 (13)	22 (11)	25 (16)	27 (12)	117 (63)
B 考えていない	18 (10)	21 (9)	19 (9)	16 (4)	11 (6)	85 (38)

表6 進学大学の所在地

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 北海道・東北	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
B 関東	7 (4)	7 (5)	4 (2)	4 (3)	14 (6)	36 (20)
D 東海	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)
E 近畿	8 (2)	4 (3)	12 (4)	10 (6)	7 (3)	41 (18)
F 中国	7 (6)	9 (4)	6 (5)	10 (7)	6 (3)	38 (25)
H 九州・沖縄	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)

注：「C 甲信越・北陸」「G 四国」「I 外国」は回答者なし

表14 興味がない理由

何か難しそうだから／自分にとって不必要な情報そうだから／あんまり興味ない、面倒くさい／話が堅そう／広島大学自体に進学したいという気持ちは持

っていない／「日本の大学」などという抽象的なものに興味はない／など，24回答

表15 大学史の授業に期待すること

大学の真の雰囲気／大学に行くことの意味を知りたい／簡潔に，短く／広大の独自性が知りたい／大学への印象をよくするもの／がんばられるような言葉。気合い入れてほしい／など，93回答

表16 今回の大学訪問に期待すること

どのような大学で，どのような方々がいるのかを知りたいです／大学の生活の様子を間近に感じてみたい／その学部，学科に行ったら何ができて，将来，どういう選択肢を持てるのかを具体的に教えてほしい／など，155回答

表17 広島大学への進学について

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A したい	6 (5)	13 (5)	5 (4)	7 (4)	2 (1)	33 (19)
B できれば したい	8 (4)	2 (2)	11 (4)	4 (3)	5 (2)	30 (15)
C どちらとも いえない	17 (9)	16 (9)	16 (10)	18 (7)	24 (12)	91 (47)
D できれば したくない	4 (2)	6 (3)	6 (1)	10 (5)	3 (2)	29 (13)
E まったく したくない	3 (1)	4 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	13 (5)

表18 進学したい理由

近いから。また，医学部があるから／地元で安心だから／レベルの高い大学だから。県内だから／近いから。広大生の話をしきくと，日々が充実しているのがありありと分かるから／西日本から遠く離れる気がないから。広島大学は優れた大学だから／国立であり，レベルが高い／など，63回答

表19 広島大学を決めかねる理由

自分と合っているかどうか／行けるかわからないし，まだ大学までは考えていないから／どこの大学にどのような特徴があるのか分からないので，はっきりしていない／場所が家から通うにも下宿して通うにも中途半端で…／できれば県外に行きたいから／など，91回答

表20 進学したくない理由

自宅から通わなければならない東広島キャンパスは遠いから／高いレベルのところに行きたい／都心に行きたい／他の大学に行けなかったことを意味するから／広島から出たい／など，39回答

表21 広島大学のイメージ

地域性が高く，地元では有名。教育学部が有名／教育実習生が来るので，大学生の方と接する機会が多々ありますが，皆いきいきしています／身近／施設が充実している／いろんな会社と共同開発している／山奥にある大学／など，159回答

表12 今回の大学史の授業内容への興味

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とてもある	4 (3)	4 (3)	1 (1)	3 (2)	2 (1)	14 (10)
B 少しある	8 (5)	13 (10)	11 (7)	16 (6)	7 (3)	55 (31)
C どちらとも いえない	20 (11)	16 (6)	17 (7)	17 (10)	16 (7)	86 (41)
D あまりない	4 (2)	3 (0)	4 (2)	2 (1)	1 (0)	14 (5)
E 全くない	2 (0)	2 (0)	4 (1)	2 (1)	2 (0)	12 (2)

表22 講義の期待適合度（東広島のみ）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 期待通り	5 (2)	7 (2)	3 (2)	2 (2)	5 (3)	22 (11)
B ある程度 期待通り	12 (3)	17 (5)	12 (4)	7 (3)	9 (6)	57 (21)
C どちらでも ない	5 (0)	2 (0)	4 (0)	11 (0)	4 (0)	26 (0)
D あまり期待 通りではない	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	1 (0)	6 (0)
E 期待はずれ	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	4 (0)

合度，内容への興味，難易度，満足度などを質問した（表22～27）。また，講義を受けなかった集団を含めた全体共通の質問として，広島大学に関する認識，志望校，広島大学への進学希望の変化の有無を尋ねた。

4. 小 括

以上提示したデータによれば，本調査において次の

表23 講義の内容への興味（東広島のみ）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても興味を覚えた	2 (2)	3 (1)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	9 (5)
B興味を覚えた	7 (2)	11 (4)	8 (6)	4 (1)	3 (3)	33 (16)
Cどちらでもない	11 (3)	13 (5)	7 (2)	13 (3)	12 (6)	56 (19)
Dあまり興味を覚えなかった	3 (2)	0 (0)	2 (1)	5 (4)	3 (0)	13 (7)
E全く興味を覚えなかった	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	3 (0)

表24 講義の難易度（東広島のみ）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても難しかった	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
B難しかった	4 (1)	4 (1)	0 (0)	3 (1)	2 (0)	13 (3)
C適度だった	16 (7)	23 (9)	18 (9)	15 (7)	14 (8)	86 (40)
D易しかった	2 (0)	0 (0)	3 (1)	3 (0)	2 (1)	10 (2)
Eとても易しかった	1 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	2 (1)	6 (2)

表25 講義の満足度（東広島のみ）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても良かった	6 (3)	4 (1)	4 (2)	1 (0)	1 (1)	16 (7)
B良かった	9 (3)	13 (4)	8 (6)	9 (3)	8 (6)	47 (22)
Cどちらでもない	8 (3)	11 (5)	7 (1)	11 (4)	9 (3)	46 (16)
Dあまり良くなかった	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (1)	2 (0)	5 (2)
E全く良くなかった	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)

表26 講義の他の附属生への推奨度（東広島のみ）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても勧めたい	3 (1)	2 (1)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	8 (5)
B勧めたい	4 (1)	6 (4)	2 (1)	0 (0)	4 (4)	16 (10)

Cどちらでもない	15 (6)	20 (5)	14 (7)	21 (7)	12 (5)	82 (30)
D勧めたくない	1 (1)	0 (0)	2 (0)	2 (1)	2 (0)	7 (2)
E全く勧めたくない	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)

表27 講義の同世代への推奨度（東広島のみ）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても勧めたい	1 (0)	1 (0)	2 (1)	0 (0)	1 (1)	5 (2)
B勧めたい	2 (2)	9 (6)	3 (2)	1 (1)	6 (4)	21 (15)
Cどちらでもない	15 (5)	15 (4)	15 (7)	20 (7)	11 (5)	76 (28)
D勧めたくない	2 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	6 (1)
E全く勧めたくない	2 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (1)

表28 講義の続きを受けたいか（東広島のみ）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても思う	1 (0)	3 (0)	6 (2)	0 (0)	4 (2)	14 (4)
B思う	12 (5)	14 (3)	6 (3)	10 (2)	11 (7)	53 (20)
Cどちらともいえない	5 (2)	5 (3)	5 (3)	6 (2)	2 (0)	23 (10)
Dあまり思わない	3 (0)	4 (3)	2 (2)	7 (4)	2 (1)	18 (10)
E全く思わない	2 (2)	1 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	7 (3)

表29 広島大学に関する認識

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても変わった	3 (1)	3 (1)	6 (3)	4 (0)	3 (3)	19 (8)
Bある程度変わった	18 (9)	20 (10)	19 (10)	24 (13)	13 (7)	94 (49)
Cどちらでもない	12 (6)	14 (7)	14 (5)	9 (4)	21 (10)	70 (32)
Dあまり変わらなかった	4 (2)	4 (3)	2 (2)	3 (2)	1 (0)	14 (9)
E全く変わらなかった	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)

表30 広島大学に関する認識（東広島のみ）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とても変わった	2 (0)	3 (1)	2 (2)	3 (0)	3 (3)	13 (6)
B ある程度変わった	11 (6)	13 (5)	11 (5)	14 (7)	7 (4)	56 (27)
C どちらでもない	9 (4)	10 (4)	7 (2)	6 (1)	9 (3)	41 (14)
D あまり変わらなかった	3 (1)	1 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	7 (2)
E 全く変わらなかった	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

表31 志望校の変化

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 変化した	5 (2)	3 (3)	4 (3)	5 (2)	5 (3)	22 (13)
B 変化しなかった	30 (15)	38 (18)	37 (17)	35 (17)	35 (17)	175 (84)

表32 志望校の変化（東広島のみ）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 変化した	4 (1)	2 (2)	2 (1)	4 (1)	1 (1)	13 (6)
B 変化しなかった	19 (9)	25 (8)	19 (9)	20 (7)	19 (9)	102 (42)

表33 広島大学への進学

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とても進学したい	6 (3)	11 (4)	5 (4)	7 (4)	2 (2)	31 (17)
B できれば進学したい	9 (5)	6 (3)	11 (5)	3 (2)	10 (4)	39 (19)
C どちらともいえない	15 (7)	14 (8)	15 (6)	15 (5)	15 (10)	74 (36)
D できれば進学したくない	5 (3)	4 (2)	5 (2)	7 (4)	9 (4)	30 (15)
E まったく進学したくない	1 (0)	4 (2)	1 (1)	7 (4)	4 (0)	17 (7)

表34 広島大学への進学（東広島のみ）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とても進学したい	2 (1)	9 (2)	3 (2)	2 (1)	2 (2)	18 (8)
B できれば進学したい	6 (2)	4 (1)	6 (4)	1 (1)	5 (2)	22 (10)
C どちらともいえない	11 (5)	8 (2)	7 (2)	9 (0)	6 (3)	41 (12)
D できれば進学したくない	3 (2)	2 (2)	2 (1)	7 (4)	6 (3)	20 (12)
E まったく進学したくない	1 (0)	3 (2)	0 (0)	4 (2)	1 (0)	9 (4)

ことが分かった。

大学史の講義は実施の前後ともに生徒の興味を引き（表12、表23参照）、実施後の調査では36.8%の生徒が講義内容に興味を覚えたと回答した。これは14.0%の興味を覚えなかったとの回答を大きく上回った（以上、表23より算出）。このような肯定的意見と否定的意見の比率の差を項目ごとに見ていくと、講義が事前の期待通りであったか（表22）は60.0%（{肯定的意見(A+B)の比率} - {否定的意見(D+E)の比率}の数値、以下同じ）、講義を受けて良かったか（表25）は48.3%、講義を附属高の他の生徒に勧めたいか（表26）は12.1%、同年代の高校生に勧めたいか（表27）は12.3%、講義の続きを受けたいか（表28）は36.6%、とそれぞれ肯定的意見が大きく上回った。

自由記述回答においては、講演内容への興味について、「今まで知らなかったことを知ることができたから」「各大学の歴史とかもその大学の今の形態にかなりかかわっているんだ、ということが分かったから」

などの肯定的意見が38件、「広大の歴史を知って何になるのかわからない」などの否定的意見が16件あった。講演を受けて良かったと思うかどうかについては、「広大の歴史（前身校）について知ることが出来、面白かったので」「内容が分かりやすく、自分の知らなかった事ばかりだったから」などの肯定的意見が63件、「たいして新しいものを得られたとは思わなかった」「広島大学の歴史についてなどは、別に聞きたくはなかった」などの否定的意見が7件あった。

大学史の講義を他の生徒に勧めたい理由として「広大に行く人も多いと思うので、知っていて損はない」「広島大学という身近な大学が実はとてもすごいところだと分かってもらいたいから」「附属の歴史にも関係あるし知っというて損はないと思う」といった意見が24件あり、「広大志望じゃない限り、聞いてもえるものは少ない」という否定的意見は9件あった。

以上の結果、大学史教育が生徒の進学適性に対する自覚の形成に一定の意義を有していることがわかった。